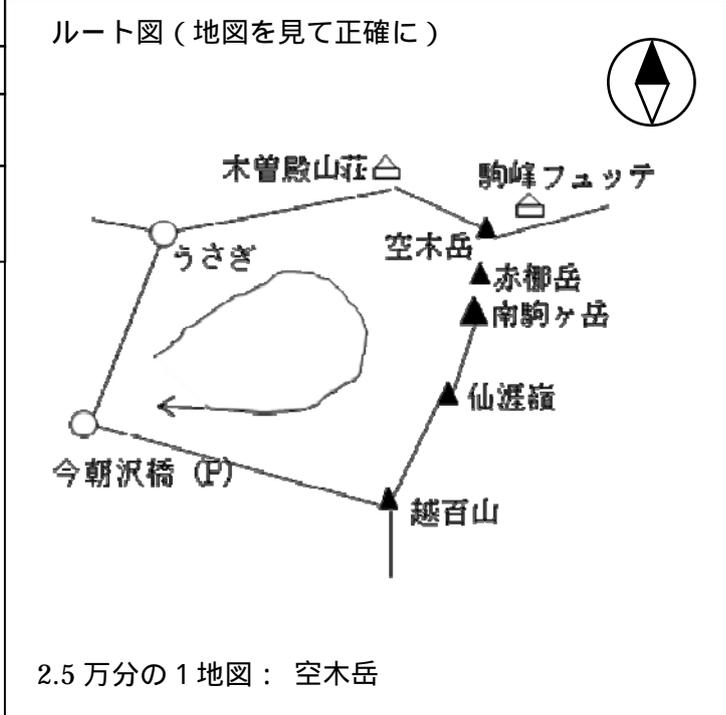


9 月度 ^{例会} _{個人} 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一
		報告日	10/10		
山 域	中央アルプス	山行日	12 年 09 月 15 日(土)		
山 名	空木・南駒・越百		~16 日(日)		

山行目的	空木岳・南駒ヶ岳・越百山縦走(眺望)を楽しむ	コースタイム(天候:天気図記号)
------	------------------------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集
会担当者



9/15 晴れのち霧
05:30 起床
06:10 今朝沢橋 P
06:30 今朝沢橋 P 発
07:30 ダムより 6km1 本(5 分)
(7:45 金沢土場 4 合目)
08:05 うさぎ平 1 本(20 分)
(8:50 八丁だるみ)
09:15 北沢吊橋 1 本(5 分)
(9:55 7 合目)
10:10 仙人の泉 1 本(10 分)
11:00 8 合目 1 本(5 分)
(11:50 木曾義仲の力水)
12:05 木曾殿山荘(5 分)
12:40 東川岳(5 分)
(13:05 木曾殿山荘)
13:35 ガレ広場 1 本(5 分)
14:30 空木岳山頂(20 分)
15:00 駒峰ヒュッテ着

9/16 晴れ
04:30 起床
05:30 駒峰ヒュッテ発
06:35 赤柳岳 1 本(10 分)
07:30 南駒ヶ岳 1 本(20 分)
08:50 仙涯嶺 1 本(15 分)
10:00 越百手前ピーク
(20 分)
(10:25 越百山山頂)
10:55 越百小屋 1 本(2 分)
11:30 上の水場(10 分)
12:30 下のコル 1 本(5 分)
(13:00 福柘橋登山口)
13:30 今朝沢橋 P 着

山行報告 <第 1 日目(9/15)>昨夜、自宅を 10 時に出発。IC 近くでカメラを忘れた事に気づく。引き返すか、迷うも眠る時間を考え、カメラは諦めた。道の駅“大桑”へ 12:40 着。即刻、車中泊。寝坊して 5:30 起床。顔だけ洗って、登山口へ向かう。今朝沢橋の駐車場で朝食、準備をして 6:30 に出発。空木岳迄、8h と標識(アレ、修正地図のコースタイムより、1h 短い)あり。林道を 1h 歩いた所で 1 本。すぐに金沢土場へ、さらに 20 分程でうさぎ平へ。大休止し、おにぎりを食べ、いよいよ登山道だ。いきなりの急登を登りきると 5 合目、八丁だるみも過ぎて 6 合目の吊橋を渡った所で 1 本。樹林帯の中、日差しを遮ってくれる為、時折の微風も涼しく、快調に登る。仙人の泉で 1 本。湧水が冷たく、美味い。まだ上にも水場があると、補充せず。8 合目で小休止し、義仲の力水まで登るも、アレ水が干上がってる。後悔するも後の祭りだ。仕方なく、もうひと頑張りして、木曾殿山荘へ。ガスが始め、せっかくの空木の頂上が見えない。予定より早い為、空身で東川岳をピストン。いよいよ、空木頂上を目指し、ガレ場を登る。結構な急登でガレ場途中で 1 本。岩場を登り、着いたかな?と思ったら、第 1 ピーク。更に、稜線の岩場を過ぎ、第 2 ピークを巻いて、ようやく山頂だ。眺望は今一ながら、ゆっくり頂上を楽しんでから、駒峰ヒュッテへ。担ぎ上げたビールで乾杯、焼酎でほろ酔い。野菜鍋をを食し、19 時就寝。

<第 2 日目(9/16)>小屋の快適さに、又も寝坊して 4 時半に起床。早速に雑炊を作り、日の出を窓越し眺めながら朝食。5:30 に出発。日の出を背に、空木の山頂へ。何か、朝陽が応援してくれて背を押してくれている様に感じる。山頂では、朝焼けと白い雲海とその上に広がる 360 度の大パノラマを十分に楽しむ。名残は惜しいが、意を決して、南方面の稜線を嬉々として進む。1h で赤柳岳へ。厳しい稜線をアップダウンするも、景色が素晴らしく、辛さも忘れる。南駒ヶ岳、仙涯嶺、越百山と、快晴の稜線歩きを満喫しては、一気に下山道へ。越百小屋で水場の情報を得て、上の

リーダー所見
2 泊 3 日の日程が組めたら...と思ったが、そうそう休む訳にもいかず、2 日間のやや強行日程となった。年齢を考えると、少し、ハードな山行となったが、前から行きたいと思っていたコースを無事に楽しむ事ができ、少し、自信も回復したかな?下山後は、阿寺の湯♨で、のんびりと身体をほぐし、帰りの高速は、少し渋滞にはまったが、大満足で家路についた。



確認
(リーダー)
津田
12.10.10
作成
(報告者)
津田
12.10.10